

【英国】

1-2 月の市場動向トピックス

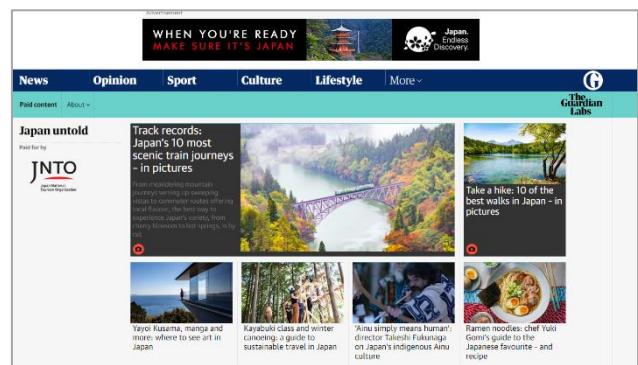
- 2021年1月の訪日英国人数は、前年同月比 98.8%減の 300 人であった。
- 2021年2月の訪日英国人数は、前年同月比 99.6%減の 70 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による上陸拒否、14 日間の隔離・PCR 検査受診等、査証の効力停止等の対象となっている。なお、2020年12月24日以降、変異株流行国として、当分の間、検疫所が確保する宿泊施設での3日間の待機等、検疫強化の対象となっている。

1-2 月の主なプロモーション活動

- 1月から3月にかけて、英国旅行会社を対象としたウェビナーシリーズを新規に実施(計4回予定)。航空会社や英国にレップ等の拠点がある地方自治体をスピーカーとして招き、航空会社の衛生安全対策や日本各地の観光情報を配信した。これまで、主要訪日取扱旅行会社や個人のトラベルカウンセラーなど合計約190名が参加。ウェビナー参加社へのアンケートによると、日本での文化体験やアウトドア体験の需要が高いとしており、今後の予約については、約半数が、問い合わせはあるが予約には至っていないと回答した。



- 1月から3月にかけて日本の安全安心に関する情報発信及び、コロナ後の訪日イメージを訴求する広告事業を展開。日本映画特集を組んでいる British Film Institute (英国映画協会) とタイアップし、同協会のオンライン動画配信サービスプラットフォーム (BFI Player) 上に JNTO の特設ページを設けるなど、コロナ禍で海外旅行が制限されている中、日本映画を通じて日本への継続した興味関心喚起を促すプロモーションを実施。また、英国主要紙の一つである The Guardian オンライン版では Japan Untold と題し、アウトドアや食といったテーマで日本に関する広告記事を配信。ロックダウン下でも楽しめるコンテンツや、日本の安心安全情報、将来的に往来が可能となった後の旅行のインスピレーションが得られるような情報発信を実施した。



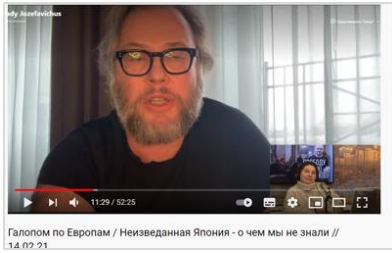


<松永公使によるビデオメッセージ>

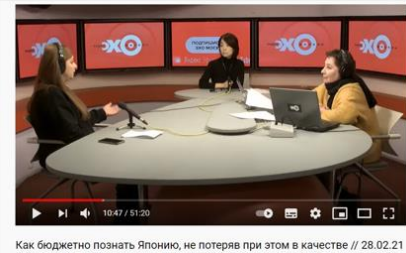


<モスクワ事務所の職員によるプレゼンテーションの様子>

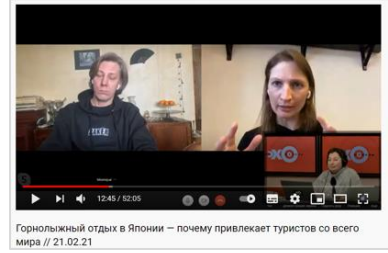
(2) ラジオ局と連携した訪日プロモーション



<有名グルメインフルエンサーゲスト出演の様子>



<トラベルブローガー出演の様子>



<スノーインフルエンサーゲスト出演の様子>